

# 土木学会 水工学委員会 水文部会 内規

平成 19 年 9 月 15 日

平成 21 年 9 月 2 日一部修正

平成 25 年 7 月 15 日一部修正

## (目 的)

第 1 条 水文部会(以下部会という)は、土木学会水工学委員会の基本方針およびその定めるところに従い、水工水文分野ならびにこれに関連する問題の研究、調査、これらの推進、ならびに当該分野の若手研究者の育成をはかることを目的とする。

## (活 動)

第 2 条 部会は、上記の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 水工水文学ならびにこれに関連する問題の研究、調査
- (2) 講演会、講習会、研修会、見学会等の開催
- (3) メーリングリストやウェブページなどを通じた水工水文学に関する情報の交換
- (4) 水工水文学に係る国内および国外の学協会関係機関との研究連絡
- (5) 水工水文学に関する刊行物発刊の企画編集等
- (6) その他目的達成のために必要な事項

## (構 成)

第 3 条 部会の構成は、水工学委員会内規に従うものとする。水工学委員会内規に定めのない場合、次の原則に従うものとする。

- (1) 部会長は次期部会長候補者を部会に提案し、審議を経た後、水工学委員長に推薦する。
- (2) 委員の構成は、地域、専門とする教育研究分野のバランス、年齢構成、男女比に配慮して部会長が部会委員案を作成し、部会での審議を経た後、水工学委員長に推薦する。水工学委員長の指名に基づき、水文部会長は委員の委嘱を行う。
- (3) 必要あるときは副部会長 1 名を置くことができる。
- (4) 任期半ばで委員が交代するときは、後任委員の任期は前任者の任期を引き継ぐものとする。
- (5) 部会には委員以外に準部会員、アドバイザーの参加を認める。

## (報 告)

第 4 条 部会長は、水工学委員会内規に従い、水工学委員会委員長の要請により部会の活動状況を水工学委員会に報告することとする。

(審議)

第5条 この内規に定められた審議は、部会委員などからなるメーリングリスト上での議論により行うことができるものとする。

(事務局)

第6条 部会を運営するにあたり土木学会事務局の支援を要請することができる。

(内規の変更)

第7条 本内規の改正は、水文部会の承認により行い、水工学委員会に報告する。

### 参考資料

- 1964年6月、水文学の調査研究とユネスコの国際水文10年計画 (IHD, International Hydrologica Decade) への協力を目的として、土木学会水理委員会に水文小委員会が設立された。1988年、水理委員会が3部会制に移行したことを契機として、水文部会と改名され、現在に至る。

- 歴代の部会長

土木学会水理委員会水文小委員会が IHD 対処用に 1964 年に設置される。

1964～1969 :	井口昌平
1969～1979 :	石原安雄
1979～1981 :	高棹琢馬
1981～1983 :	石崎勝義
1983～1987 :	竹内邦良
1987～1989 :	池淵周一

1988年水理委員会日野幹雄委員長時代に3部会制に移行し、水文部会が発足する。

1989～1990年度 :	虫明功臣、東京大学生産技術研究所
1991～1992年度 :	椎葉充晴、京都大学工学部
1993～1995年度* :	山田 正、中央大学理工学部

(\* 水理委員会の幹事長就任のため二期目途中で交代)

1995～1998年度 :	寶 馨、京都大学防災研究所
1999～2000年度 :	小池俊雄、東京大学大学院工学系研究科
2001～2002年度 :	中北英一、京都大学大学院工学研究科
2003～2004年度 :	岡 泰道、法政大学工学部
2005～2006年度 :	堀 智晴、京都大学大学院地球環境学堂・工学研究科

2007～2008 年度： 沖 大幹、東京大学生産技術研究所  
2009～2010 年度： 立川康人、京都大学大学院工学研究科  
2011～2012 年度： 神田学、東京工業大学大学院  
2013～2014 年度： 浅沼順、筑波大学アイソトープ環境動態研究センター

- 部会委員推薦の原則
  - 情報を広く共有するため、水工学委員会委員と部会委員とは併任しない。
  - 部会長の年齢（あるいはおおむね 50 歳前後）を目安として後進に道を譲っていただけとありがたい。
  - 学生は部会委員としない。部会活動も大事であるが、学生は学業が本務である。
- 準部会員
  - 将来の水文部会委員候補を準部会員とする。
  - 準部会員には、土木学会正会員ならば随時参加・登録できる。
- アドバイザー
  - 部会長の年齢（あるいはおおむね 50 歳前後）以上の部会委員、準部会員をアドバイザーとする。
- 水文部会メーリングリスト([cvlhydro@lists.suiri.tsukuba.ac.jp](mailto:cvlhydro@lists.suiri.tsukuba.ac.jp))
  - 水文部会メーリングリストは、部会委員、準部会員、アドバイザーからなる。学生、院生は基本的には登録せず、担当教員が必要に応じて転送することとする。